

区民活動推進部

区民活動推進部 施策 1 1 1

平成22年度 施策評価シート（区民活動推進部）

| | | |
|-------|--|---------------------------|
| 基本目標 | I 「すみだ」らしさの息づくまちをつくる | |
| 政策 | 110 | 歴史ある文化を伝えつつ、新たな文化を創造する |
| 施策 | 111 | 新たな文化の担い手を育て、文化芸術活動を盛んにする |
| 施策の目標 | 区民自身が積極的に文化芸術活動を行い、多くの「すみだ」らしい文化の担い手が育ち、音楽や美術など新しい「すみだ」の文化にいつでも接しています。 | |

1. 基本計画における成果指標

| 指標名 | 単位 | 目標値 | 19年度 | 20年度 | 21年度 |
|------------------------|----|------|------|------|------|
| 文化芸術活動に参加したことがある区民の割合 | % | 27.0 | — | — | — |
| 文化芸術活動の機会や場があると思う区民の割合 | % | 55.0 | — | — | — |

2. 「1 成果指標」以外に施策の進捗状況を示す指標

| 指標名 | 単位 | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 |
|-------------------|----|------|------|------|------|
| トリフォニーホール年間入場者数 | 千人 | 209 | 226 | 221 | 241 |
| 新日本フィル音楽指導事業の年間回数 | 回 | 38 | 36 | 39 | 39 |
| リバーサイドホール施設利用実績数 | 件 | 731 | 817 | 839 | 963 |

3. 目標と現状(実績)についての分析

| 指標の推移・施策の課題や問題点について記述 |
|---|
| <p>トリフォニーホールについては、一定水準の年間入場者数が増加傾向にあるが、政策目標である音楽都市づくりの成果を向上させるため、より効率的な管理運営を行う必要がある。</p> <p>一方で、リバーサイドホールの周知度も高まり、利用件数も伸びている。しかし、開設後、20年が経過し、設備関係機器を中心にメンテナンスを計画的に行う必要がある。</p> <p>*成果指標は、17年度「墨田区基本計画策定に係る社会調査」に基づく。次の調査は22年度の予定。</p> |

4. 今後の施策の運営方針

| 施策の戦略的方向性（選択肢に○をつける） |
|--|
| <p>1. 優先的に資源投入を図る。</p> <p>2. 現状維持</p> <p>3. 現状維持だが、より効率的な運営を図る。</p> <p>4. 資源投入の縮小を図る。</p> |
| <p>【上記の判断理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> トリフォニーホールは、区民の音楽文化に触れ合う機会と場を提供するとともに、本区と新日本フィルハーモニー交響楽団とのフランチャイズ提携の拠点として、音楽文化を振興し、区民の音楽文化活動を育成する等の重要な役割を担っているため。 リバーサイドホールは、墨田区の魅力を広くPRする文化活動の拠点として、区民が集い、交流し、活動する場としての役割を担っているため。 |
| <p>【今後の具体的な方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新日本フィルと連携した区民向け各種コンサートや小中学校への音楽指導事業等の実施 長期修繕計画に基づく、設備等の修繕及び更新を行う。 |

5. 部内各課で実施しているこの施策に係る事務事業

(単位：千円)

| 番号 | 事務事業名 | 課名 | 21年度 直接事業費 | 評価 結果 | 部長コメント |
|----|--------------------|-------|---------------|----------|---|
| 01 | トリフォニーホール の管理運営 | 文化振興課 | 507,387 | D | 音楽都市づくりの拠点施設として、音楽文化の振興と区民の音楽活動の促進を図っていく。 |
| 02 | リバーサイドホール の管理運営 | 文化振興課 | 57,543 | C | イベントホール、ギャラリー、会議室を、区民の交流と文化活動の場として提供していく。 |

【評価結果】

- A：効果が高く、拡充によるさらなる効果拡大も期待できる。(拡充)
 B：効果が高く、手段の見直しでさらに効果拡大が期待できる。(改善)
 C：効果は高いが、拡充しても効果拡大までは期待できない。(維持)
 D：効果は高いが、コスト削減等効率化の余地がある。(効率化)
 E：効果は高くないが、継続する理由がある。(縮小)
 F：効果は高くなく、継続する客観的な理由に乏しい。(見直し)

1 トリフォニーホール管理運営（施策111）

～ 内部評価結果 ～

平成22年度 事務事業評価シート

| | | | | | | | | |
|---|---------------|---|--------|-------------------------------|---------|---------|---------|----|
| 事務事業名 | トリフォニーホール管理運営 | | | | 所管課 | 文化振興課 | | |
| 施策 | 111 | 新たな文化芸術の担い手を育て、文化芸術活動を盛んにする | | | 連絡先 | 内線5455 | | |
| 直接事業費(千円) | 507,387 | 人件費(千円) | 2,640 | 内訳 | 常勤 | 0.3人 | 非常勤 | 0人 |
| 予算書名称 | 管理運営費 | | 科目 | (款)区民生活費(項)文化振興費(目)トリフォニーホール費 | | | | |
| 1. 事業の目的・手段(具体的、限定的に記入してください) | | | | | | | | |
| 【対象】 誰(何)を対象としているのか 多様な文化芸術への指向性を持った、幅広い年齢層の区民 | | | | | | | | |
| 【目標】 この事業によって対象をどのような状態にしたいのか 区民自身が地域に根ざした文化芸術活動の担い手となるとともに、区民生活の身近なところで文化芸術と接することができる状態にする。 | | | | | | | | |
| 【手段】 どのような方法で目標を達成するのか(具体的な事業内容) クラシックやコンテンポラリーなど各種ジャンルのコンサートなど、幅広い内容の文化芸術の鑑賞機会を提供する。区民の文化芸術活動の発表の場づくりやホールボランティアの受け入れ、ジュニア・オーケストラの運営などを息長く継続する。 | | | | | | | | |
| 2. 事業開始からこれまでの経過 | | | | | | | | |
| 事業年度 | 開始年度 | 平成9年度 | 終了予定年度 | 経過期間 | | 13年 | | |
| 実施根拠及び事業開始の経緯を踏まえたこれまでの事業の変遷 昭和63年3月「豊田区音楽都市構想」を発表、すみだトリフォニーホール条例(平成8年9月30日 条例第23号)すみだトリフォニーホール条例施行規則(平成9年5月30日 規則第33号)、芸術鑑賞の機会と自主的な芸術文化活動の場を提供、文化性豊かなまちづくりに寄与するため、トリフォニーホールを平成9年10月に開設し、フランチャイズオーケストラのコンサートを始めとした国内外の質の高い芸術文化を提供している。 | | | | | | | | |
| (1)実績をあらわす指標と実績値 | | | | | | | | |
| 指標名(指標の説明) | | 単位 | 年度 | H18年度 | H19年度 | H20年度 | H21年度 | |
| ホール公演の年間入場者数(大小ホールの合計) | | 人 | 実績値 | 209,159 | 225,542 | 220,776 | 240,680 | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| (2)事業の進捗分析 | | | | | | | | |
| 目標の達成に向けた事業の進捗状況とその分析 入場者数は、一定水準を維持しているが、さらに集客活動を行う余地がある。 | | | | | | | | |
| 3. 視点別の評価 | | | | | | | | |
| (1)事業の必要性 | | 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C | | | | | | |
| ①事業へのニーズはどのように変化しているか | | <input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 減少 | | | | | | |
| ②区が事業を実施すべき強い理由があるか | | <input checked="" type="checkbox"/> 強い理由 <input type="checkbox"/> 理由あり <input type="checkbox"/> 検討の余地有り | | | | | | |
| ③事業を休止・中止した場合の影響はどうか | | <input checked="" type="checkbox"/> 大きい <input type="checkbox"/> 中程度 <input type="checkbox"/> 小さい | | | | | | |
| (2)事業の有効性 | | 評価結果 <input type="checkbox"/> A <input checked="" type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C | | | | | | |
| ①指標の実績値は向上しているか | | <input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 減少 | | | | | | |
| ②施策目標を達成するための効果的な手段であるか | | <input type="checkbox"/> 最も効果的 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね適切 <input type="checkbox"/> 適切とはいえない | | | | | | |
| (3)事業の効率性 | | 評価結果 <input type="checkbox"/> A <input checked="" type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C | | | | | | |
| ①関連・類似事業との統合は可能か | | <input checked="" type="checkbox"/> できない <input type="checkbox"/> 検討可能 | | | | | | |
| ②事業にかかる経費は低減しているか | | <input checked="" type="checkbox"/> 低減 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 増大 | | | | | | |
| ③受益者負担は適正か | | <input type="checkbox"/> 負担増困難 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 非該当 | | | | | | |
| (4)協働の可能性 | | 評価結果 <input type="checkbox"/> A <input checked="" type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C | | | | | | |
| ①区民との協働実施を進めることが可能か | | <input type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 実施困難 <input checked="" type="checkbox"/> 検討可 <input type="checkbox"/> 実施可能 | | | | | | |
| ②民間への外部化(委託等)は可能か | | <input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 実施困難 <input type="checkbox"/> 検討可 <input type="checkbox"/> 実施可能 | | | | | | |
| 4. 総合評価(課長評価) | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> A. 効果が高く、拡充による更なる効果拡大も期待できる。(拡充) <input type="checkbox"/> D. 効果は高いが、コスト削減等効率化の余地はある。(効率化) | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> B. 効果が高く、手段の見直しでさらに効果拡大が期待できる。(改善) <input type="checkbox"/> E. 効果は高くないが、継続する理由がある。(縮小) | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> C. 効果は高いが、拡充しても効果拡大までは期待できない。(維持) <input type="checkbox"/> F. 効果は高くなく、継続する客観的な理由に乏しい。(見直し) | | | | | | | | |
| 【評価の理由】 どの視点を重視して総合評価を行ったのか及び目標達成に向けた今後の取り組み サービス向上を図る中でコストの削減を行っており、その効果も徐々に表れてはいるが、平成23年度から指定管理者による運営の第二期に入るに当たり、より一層の効率化を図る必要がある。 | | | | | | | | |

1 トリフォニーホール管理運営（施策111）

～ 外部評価結果 ～

（1）委員会意見

事業自体は有意義なものであり、区民の文化活動に貢献しているが、当施設の管理運営には指定管理者制度が導入されており、これを施設管理費の削減だけではなく、施設の目的（区民の音楽文化に触れる機会と場の提供）に即した効果的な運営に生かすことで、利用率、サービス、収益の向上にもつなげるべきである。

平成23年度からの第二期の指定管理期間（5年間）の運営を見据え、現行の指定管理者が適切に業務を遂行しているかどうかについての十分な検証が必要である。

また、事業経費が大きいことから、事業の実施に当たっては、区民負担（区税投入）が妥当かどうか、多くの区民の賛同が得られているかを確認しながら事業を進める必要がある。

（2）内部評価の各項目についての個別意見

① 評価上の要改善点

- 本事業の目的・手段となっている「文化芸術の鑑賞機会の提供」、「区民の文化芸術活動の発表の場づくり」、「ホールボランティアの受け入れ」などに関する指標を設定すれば、より事業評価が行いやすい。
- 実績をあらわす指標として、「区民の利用者数」や「区民の満足度（アンケート調査結果）」、「利用者収入」、「収支比率」、「施設稼働率」、「入場者1人当たりのコスト」などの設定があると良い。

② 事業改善の方向性

◆ 必要性・有効性に関する意見

- 本施設は、区と新日本フィルハーモニー交響楽団とのフランチャイズ提携に基づく活動拠点であり、我が国初の取り組みである。新日本フィルは区民向けコンサートや小中学校への音楽指導事業等を実施しており、区民の文化活動に貢献している。
- 施設の管理運営における指定管理者の更新に当たっては、候補者の適性を評価するため、指定管理者選定委員会に、区職員、公認会計士の他、芸術・文化関係の専門家を入れる必要がある。
- 一つの自治体で本施設を所有し続けるには財政負担が大きいと、そもそも区として直接運営する施設かどうかといった議論も必要である。

◆ 効率性・協働に関する意見

- 新日本フィルの若い団員が地元来越してきて、地域活動に参加するといった良い面も多々あるが、施設維持管理費が大きいいため、さらなる経費削減に努め、収益を上げてもらいたい。
- 魅力のあるソフト・イベント事業を提供してほしい。
また、本事業にかかる事業費の妥当性を考え、演目なども工夫し、入場料金にもメリハリをつけることで、収益の向上を図ってほしい。
- 文化事業に対する一定の負担は仕方ないが、自治体規模による適切な負担額もあると思う。また、光熱水費などの施設管理費のコストが大幅にかかっていると思われるため、エスコ事業（※）の導入などにより、維持費を下げる工夫がもっと必要である。
- 本事業の支出の6割を占める施設管理費の削減努力が必要である。また、当初建設費の減価償却費と運営費の合計に対してどの程度の利用者負担を求めるかの水準について、区の中で議論した方がよい。

（※）エスコ事業（ESCO 事業）

エスコ（ESCO：Energy Service Company の略）事業とは、ビルや工場などの建物の省エネルギーに関する包括的なサービス（省エネルギー診断・設計・施工・導入設備の保守・運転管理・事業資金調達など）を行う事業のこと。エスコ事業者は、それによって得られた省エネルギー効果を保証し、削減した光熱水費の中からその一部を報酬として受取る。

区民活動推進部 施策131

平成22年度 施策評価シート（区民活動推進部）

| | |
|-------|---|
| 基本目標 | I「すみだ」らしさの息づくまちをつくる |
| 政策 | 130 水と緑を活かした、美しい景観をつくる |
| 施策 | 131 まちなみに地域ごとの特色を反映させる |
| 施策の目標 | 地域ごとに、区民が愛着をもてる個性と風格のあるまちなみが広がり、区外からもその美しいまちなみを楽しむために多くの人が訪れています。 |

1. 基本計画における成果指標

| 指標名 | 単位 | 目標値 | 19年度 | 20年度 | 21年度 |
|---|----|------|------|------|------|
| 墨田区のまちなみが美しいと思う区民の割合 (17年度「墨田区基本計画策定に係る社会調査」に基づく。次の調査は22年度予定。) | % | 30.0 | - | - | - |

2. 「1成果指標」以外に施策の進捗状況を示す指標

| 指標名 | 単位 | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 |
|----------------|----|------|------|------|------|
| 路上喫煙防止キャンペーン | 回 | 3 | 1 | 1 | 1 |
| 推進地区内推進連絡会の団体数 | 団体 | 1 | 3 | 3 | 4 |

3. 目標と現状(実績)についての分析

| 指標の推移・施策の課題や問題点について記述 |
|--|
| <p>成果指標の設定は、17年度「墨田区基本計画策定に係る社会調査」に基づくため（次の調査は22年度予定）、19年度から21年度の成果数値はない。しかし、独自の定点調査では、確実にタバコのポイ捨ての本数は減少しており一定の効果をあげているものと思われる。</p> <p>ここ数年、町会・自治会のルールを守らない新住民や若年層が増えており、マナーやルールを町会・自治会と協働で啓蒙・啓発をする必要がある。</p> <p>また、まちの美化推進を目的とした路上喫煙等禁止条例が施行して3年が経過し、日々の報告によるとポイ捨てタバコの件数はかなり減っている。しかし、非喫煙者より、喫煙マナー違反者に対するさらなる圧力を求める声が増加傾向にある。</p> |

4. 今後の施策の運営方針

| 施策の戦略的方向性（選択肢に○をつける） |
|--|
| <p>1. 優先的に資源投入を図る。</p> <p>②. 現状維持</p> <p>3. 現状維持だが、より効率的な運営を図る。</p> <p>4. 資源投入の縮小を図る。</p> |
| <p>【上記の判断理由】</p> <p>ここ数年、人口が都心に集中している傾向があり、働き盛りの若年層を中心に、建設されるマンション等に転入者が増えている。さらには、今後、スカイツリーを目指して多くの来街者が区内に訪問されることが予想される。</p> <p>そこで、路上喫煙防止対策など、町の美化推進施策は、これまでどおりの物資を購入してそれを配布するといった啓蒙・啓発だけでなく、JTや各町会・自治会との協働による取組みにより、ハード・ソフト両面からのタバコのポイ捨て禁止・町の美化推進を進めていく。</p> <p>【今後の具体的方針】</p> <p>今後は、新タワー周辺地区を中心に事業を拡大するとともに、観光客、来街者などに対してもマナーの向上を訴え、やさしいまち運動、美しいまちなみを内外にアピールする。</p> |

5. 部内各課で実施しているこの施策に係る事務事業

(単位：千円)

| 番号 | 事務事業名 | 課名 | 21年度 直接事業費 | 評価 結果 | 部長コメント |
|----|-------------|---------|---------------|----------|--|
| 01 | 路上喫煙等防止対策事業 | 区民活動推進課 | 25,768 | B | 路上喫煙禁止推進地区におけるキャンペーン等の啓発運動、パトロールによる指導・啓発により、路上喫煙、ポイ捨てが減少した。今後は、新タワー周辺地区を中心に事業を拡大するとともに、観光客、来街者などに対してもマナーの向上を訴え、やさしいまち運動、美しいまちなみを内外にアピールする。 |
| 02 | 町の美化推進事業 | 区民活動推進課 | 6,660 | C | 町会、自治会のクリーンキャンペーンや清掃活動等を通して、美しいまちなみを維持するとともに、更なる美化活動を推進する。 |

【評価結果】

- A：効果が高く、拡充によるさらなる効果拡大も期待できる。(拡充)
- B：効果が高く、手段の見直しでさらに効果拡大が期待できる。(改善)
- C：効果は高いが、拡充しても効果拡大までは期待できない。(維持)
- D：効果は高いが、コスト削減等効率化の余地がある。(効率化)
- E：効果は高くないが、継続する理由がある。(縮小)
- F：効果は高くなく、継続する客観的な理由に乏しい。(見直し)

2 路上喫煙等防止対策事業（施策131）

～ 内部評価結果 ～

平成22年度 事務事業評価シート

| | | | | | | | | |
|-----------|--------------|--------------------|-------|-----------------------------------|----|-----|---------|---|
| 事務事業名 | 路上喫煙等防止対策事業 | | | | | 所管課 | 区民活動推進課 | |
| 施策 | 131 | まちなみに地域ごとの特色を反映させる | | | | 連絡先 | 3502 | |
| 直接事業費(千円) | 25,768 | 人件費(千円) | 4,400 | 内訳 | 常勤 | 0.5 | 非常勤 | 0 |
| 予算書名称 | 路上喫煙等防止対策事業費 | | 科目 | (款)区民生活費 (項)区民活動推進費 (目)区民活動推進費総務費 | | | | |

1. 事業の目的・手段(具体的、限定的に記入してください)

【対象】誰(何)を対象としているのか
 区民及び墨田区を訪れるすべての人

【目標】この事業によって対象をどのような状態にしたいのか
 「歩きタバコ」や「ポイ捨て」等の迷惑喫煙がなく、区民等が安心して快適な生活を送れるとともに、美しい地域環境をつくる。

【手段】どのような方法で目標を達成するのか(具体的な事業内容)
 キャンペーンやパトロール等による喫煙マナー・ルールの啓発運動を行い、喫煙者の意識・モラルを啓発する。

2. 事業開始からこれまでの経過

| | | | | | |
|------|------|--------|--------|------|----|
| 事業年度 | 開始年度 | 平成18年度 | 終了予定年度 | 経過期間 | 4年 |
|------|------|--------|--------|------|----|

実施根拠及び事業開始の経緯を踏まえたこれまでの事業の変遷
 「すみだやさしいまち宣言」の一環として平成18年4月1日より施行された「墨田区路上喫煙等禁止条例」に基づき実施している。

(1)実績をあらわす指標と実績値

| 指標名(指標の説明) | 単位 | 年度 | H18年度 | H19年度 | H20年度 | H21年度 |
|---------------|----|-----|-------|-------|-------|-------|
| 路上喫煙等防止キャンペーン | 回 | 実績値 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 路上喫煙等禁止推進地区指定 | 地区 | 実績値 | 3 | 3 | 3 | 4 |

(2)事業の進捗分析
 目標の達成に向けた事業の進捗状況とその分析
 推進地区におけるキャンペーン等の啓発運動、パトロールによる指導・啓発により路上喫煙、ポイ捨てが減少した。

3. 視点別の評価

(1)事業の必要性

| | | | | |
|-----------------------|------|--|-------------------------------|----------------------------------|
| ①事業へのニーズはどのように変化しているか | 評価結果 | <input checked="" type="checkbox"/> A | <input type="checkbox"/> B | <input type="checkbox"/> C |
| ②区が事業を実施すべき強い理由があるか | | <input checked="" type="checkbox"/> 増大 | <input type="checkbox"/> 横ばい | <input type="checkbox"/> 減少 |
| ③事業を休止・中止した場合の影響はどうか | | <input checked="" type="checkbox"/> 強い理由 | <input type="checkbox"/> 理由あり | <input type="checkbox"/> 検討の余地有り |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> 大きい | <input type="checkbox"/> 中程度 | <input type="checkbox"/> 小さい |

(2)事業の有効性

| | | | | |
|-------------------------|------|--|--|-----------------------------------|
| ①指標の実績値は向上しているか | 評価結果 | <input type="checkbox"/> A | <input checked="" type="checkbox"/> B | <input type="checkbox"/> C |
| ②施策目標を達成するための効果的な手段であるか | | <input checked="" type="checkbox"/> 向上 | <input type="checkbox"/> 横ばい | <input type="checkbox"/> 減少 |
| | | <input type="checkbox"/> 最も効果的 | <input checked="" type="checkbox"/> 概ね適切 | <input type="checkbox"/> 適切とはいえない |

(3)事業の効率性

| | | | | |
|-------------------|------|--------------------------------|--|------------------------------|
| ①関連・類似事業との統合は可能か | 評価結果 | <input type="checkbox"/> A | <input checked="" type="checkbox"/> B | <input type="checkbox"/> C |
| ②事業にかかる経費は低減しているか | | <input type="checkbox"/> できない | <input checked="" type="checkbox"/> 検討可能 | |
| ③受益者負担は適正か | | <input type="checkbox"/> 低減 | <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい | <input type="checkbox"/> 増大 |
| | | <input type="checkbox"/> 負担増困難 | <input type="checkbox"/> 妥当 | <input type="checkbox"/> 要検討 |
| | | | <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 | |

(4)協働の可能性

| | | | | |
|---------------------|------|--|-------------------------------|-------------------------------|
| ①区民との協働実施を進めることが可能か | 評価結果 | <input checked="" type="checkbox"/> A | <input type="checkbox"/> B | <input type="checkbox"/> C |
| ②民間への外部化(委託等)は可能か | | <input checked="" type="checkbox"/> 実施済み | <input type="checkbox"/> 実施困難 | <input type="checkbox"/> 検討可 |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> 実施済み | <input type="checkbox"/> 実施困難 | <input type="checkbox"/> 検討可 |
| | | | <input type="checkbox"/> 実施可能 | <input type="checkbox"/> 実施可能 |

4. 総合評価(課長評価)

| | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> A. 効果が高く、拡充による更なる効果拡大も期待できる。(拡充) | <input type="checkbox"/> D. 効果は高いが、コスト削減等効率化の余地はある。(効率化) |
| <input checked="" type="checkbox"/> B. 効果が高く、手段の見直しでさらに効果拡大が期待できる。(改善) | <input type="checkbox"/> E. 効果は高くないが、継続する理由がある。(縮小) |
| <input type="checkbox"/> C. 効果は高いが、拡充しても効果拡大までは期待できない。(維持) | <input type="checkbox"/> F. 効果は高くない、継続する客観的な理由に乏しい。(見直し) |

【評価の理由】どの視点を重視して総合評価を行ったのか及び目標達成に向けた今後の取組み
 路上喫煙禁止推進地区におけるキャンペーン等の啓発運動、パトロールによる指導・啓発により、路上喫煙、ポイ捨てが減少した。本事業により「まちなみに地域ごとの特色を反映させる」施策が推進できている。
 今後は、新タワーを中心に事業を拡大するとともに、観光客、来街者などに対してもマナーの向上を訴え、やさしいまち運動を更に推進する。

2 路上喫煙等防止対策事業（施策131）

～ 外部評価結果 ～

（1）委員会意見

錦糸町駅周辺では、歩きタバコやポイ捨てが格段に減少しており、事業自体は有意義なものといえるが、区内全域についての状況把握がなされていないため、推進地区のみでの評価となっている。

ポイ捨ての吸殻数や住民アンケート調査結果などを指標に取り入れ、その上で、別の地区に重点を広げるなど、現状分析と対策案の検討が必要である。

今後も地道な啓発活動やパトロールによる指導は継続すべきであるが、路上喫煙防止は、基本的には市民の公共意識の問題であり、区民の意識の変化を見極めながら、事業の継続性や費用を再検討する必要がある。

（2）内部評価の各項目についての個別意見

① 評価上の要改善点

- 本事業の実績（成果）は、路上喫煙防止キャンペーン等の実施回数だけではなく、本来の成果として、定点における観測されたポイ捨て吸殻数又はその減少数も事務事業評価シートに明示すべきである。また、成果指標には、住民アンケート調査の結果を取り入れるなど、モラルの向上やキャンペーンの実施効果の確認方法を検討する必要がある。
- 「実績をあらわす指標」は、他自治体との比較がないとその効果が判断できない。また、ソフト施策としての「パトロール」、「普及啓発」、ハード施策としての「標識板等の設置」を指標として挙げた方が事業実績を評価しやすい。
- 指標の実績値が“向上”していると評価しているが、これは路上喫煙等防止キャンペーンの実施地点だけでの判断と思われる。一区民として区内全域を見渡して判断すると、ポイ捨て吸殻数はほとんど減少していないと感じる。

② 事業改善の方向性

◆ 必要性・有効性に関する意見

- 自宅近くの交差点で清掃をしているが、夜から朝にかけて吸殻のポイ捨てが増えているため、外来者だけではなく、地域住民に対するマナー向上対策も重要である。また、錦糸町、両国、押上、曳舟などの推進地区以外のまちのポイ捨てをどうするかといった問題もあり、地道な啓発活動は継続すべきである。
- マナーとしての路上喫煙禁止は当然であるが、今後、観光に力を入れるのであれば、愛煙家が気持ちよく喫煙できる場所を設けることも路上喫煙防止に役立つはずである。取締りやマナーを強要する「北風」ばかりではなく、

このような「太陽」の取組みが住民にも観光客にも「やさしいまち」になる。

- 押上周辺では夜でもポイ捨てはほとんどないが、推進地区にも関わらず駅周辺に表示板があるだけで、東京スカイツリー周辺には表示板が見当たらない。今後、国内外の観光客が増えることから、日本語表記以外の看板の設置など、押上付近の変化に対応できる対策が必要である。
- 煙草のポイ捨てに捉われすぎている印象があるが、町内のゴミ出しの日時や分別を守らない人が増えていることの方が大問題である。煙草のポイ捨てにゴミ問題も組み入れ、ルールを守らない人達に対する啓発パトロールを実施してほしい。

◆ **効率性・協働に関する意見**

- 啓発指導員による巡回パトロールの委託経費については、経費のベンチマークの設定や他区との比較による適正価格の算出が必要である。また、現在の民間事業者への委託をNPO法人への委託に変えるなど、予算経費縮減のための検討も行ってほしい。
- 喫煙場所が粗末であり、税金を払っている喫煙者をもう少し優遇しても良いと思う。また、スカイツリーの開業に合わせ、JT（日本たばこ産業株）と協力して、押上地区を「愛煙家にもやさしい分煙モデル地区」にするなどの検討も必要である。

